

ブロッコリーの耐暑性および日持ち性育種的高速化と品種作出

【研究概要】

研究代表機関：学校法人 玉川学園 玉川大学

共同研究機関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門・遺伝資源研究センター、朝日アグリ株式会社、株式会社日本農林社

1. 研究背景・目的

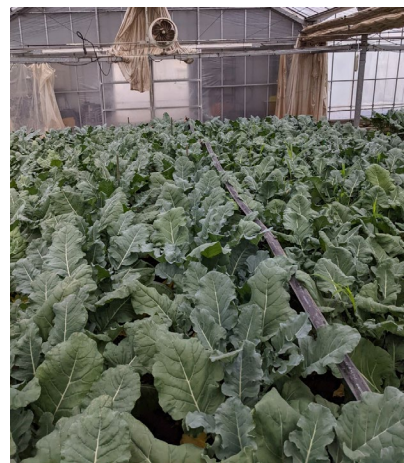
生産性を維持する高温耐性品種の育成は極めて重要な課題である。生産量が非常に増加しているブロッコリーでも、急激な気候変動が青果物の品質低下が生じている。そのため、本研究は、ブロッコリーの耐暑性と日持ち性を兼ね備える新品種作出をすることを目的とする。



高温で黄化するブロッコリー花蕾

2. 研究内容

- ① 育成系統・遺伝資源について種苗会社圃場等で耐暑性の評価を実施し、有望系統を選抜
- ② 耐暑性DNAマーカーの開発とジェノタイピング
- ③ 耐暑性系統の固定と日持ち性DNAマーカーの同定



耐暑性選抜中のブロッコリー

3. 達成目標・期待される効果

達成目標

- ① 耐暑性系統を選抜・固定し、品種候補を一つ以上開発（R11年）
- ② 耐暑性に関連するDNAマーカーを一つ以上開発
- ③ 日持ち性DNAマーカー開発



期待される効果

- ・ 耐暑性と日持ち性が改善された品種が開発
- ・ ブロッコリー生産の安定化
- ・ 国民の健康を支える基盤形成